



公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学
Sanyo-Onoda City University

学報

Vol.4
2018



特集

薬学部開学記念式・入学式

【Contents】

特集 薬学部開学記念式・入学式	2
新任教員紹介	4
オープンキャンパス開催	6
キャンパスニュース	8
学長室から	11

特集

薬学部開学記念式・入学式を挙



理事長式辞



藤田市長祝辞



河村衆議院議員祝辞



村岡知事祝辞



林参議院議員祝辞

4月10日(火)、山陽小野田市文化会館において、薬学部開学記念式及び平成30年度山陽小野田市立山口東京理科大学入学式を挙りました。このたび、工学部211名、大学院修士課程12名、博士後期課程3名に加え、薬学部119名の新入生を迎えました。

薬学部開学記念式では、池北理事長が「大学全体としては、薬学部と工学部との薬工連携を強固なものとし、山陽小野田市並びに山口県が抱える課題の解決に、地域の一員として積極的に協働するとともに、環境・衛生・健康・加齢などに関するコミュニティー講座の機会の提供もさらに活発化させて、地域に生き、地域に愛される大学としてますます発展してまいりたく存じます。」と式辞を述べました。引き続き、藤田山陽小野田市長からご挨拶をいただいたのち、ご来賓の河村建夫衆議院議員、林芳正参議院議員、村岡副政山口県知事よりご祝辞を賜りました。

また、ご来賓の本山和夫学校法人東京理科大学理事長、小野泰山山陽小野田市議会議長、中原靖明山口県薬剤師会会長、山崎博史山口県病院薬剤師会会長、藤原哲山陽小野田薬剤師会長の紹介がありました。

薬学部開学記念式終了後、平成30年度入学式が挙行され、森田学長から、「皆さんに与えられた大学での貴重な時間を大切にしてください。そこで学ぶべきは生涯にわたり学び続けるためのすべを身につけることです。」と新入生を激励しました。

薬学部記念式・入学式ともに、多くの来賓の方々よりご祝辞を賜り、新入生一人ひとりが大きな希望を胸に抱きながら、式典は無事終了しました。



地域に生き、地域に愛される大学

ここに、山陽小野田市立山口東京理科大学の薬学部開学記念式が挙行できますことは誠に喜びに耐えないことです。誠にありがとうございます。薬学部の開学に当たり、新校舎の建築が無事故・無災害で進行されたことは、市関係者の皆様、工事を担当された企業体、並びに工事関係者の皆様の多大なるご尽力によるものと感謝申し上げます。近隣にお住まいの皆様方には、新校舎の工事期間中、何かとご不便、ご迷惑をお掛けしたことと拝察いたします。この場をお借りして深くお詫び申し上げますとともに、大学創立以来、温かく見守っていただきましたことに心から御礼を申し上げます。

薬学部を設置している国公立大学が本県にはなかったことから、山口県における薬学部の設置が長年にわたり、大変期待されておりました。このようななかで、本学に薬学部が設置するに際し、多くの皆様から絶大なるご支援を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

本学に開学しました薬学部は、『薬学をとおして人の健康を守る』、ことを目的として、薬剤師国家試験に合格するための教育は当然のこと、介護、医療、福祉など地域の大学、組織と連携して、多様な人と交流することによって次世代を担う社会に有為な医療人材を育ててまいります。卒業後は、これらの経験で身につけた能力をもとに、医療現場や薬局、行政、企業などのあらゆる分野で市民の生活と健康を支えることができる有為な薬学人材として活躍することを願っております。

結びにあたり、皆様のこれまでの本学に対するご理解、並びにご尽力を賜りましたことに対して、改めて感謝とお礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



理事長
池北 雅彦

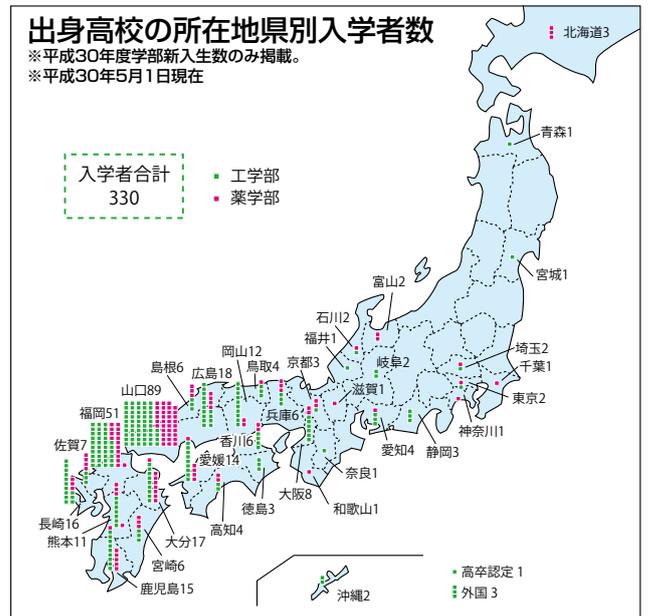


学長式辞



出身高校の所在地県別入学者数

※平成30年度学部新入生数のみ掲載。
※平成30年5月1日現在



参考：平成30年度入学試験実施結果(学部)

(単位：人)

学部	学科名	募集人員	志願者	志願者内訳		受験者	合格者	実質倍率※	入学者	入学者			
				県内	県外					県内	県外	男	女
工学部	機械工学科	60	812	78	734	675	98	6.9	66	17	49	59	7
	電気工学科	60	681	77	604	550	85	6.5	66	21	45	61	5
	応用化学科	80	957	72	885	778	128	6.1	79	16	63	57	22
薬学部	薬学科	120	1,448	129	1,319	1,123	193	5.8	119	35	84	50	69
合計		320	3,898	356	3,542	2,476	504	4.9	330	89	241	227	103

※編入学を含まない ※実質倍率=受験者数/合格者数 平成30年5月1日現在

大学での貴重な時間を大切に

山陽小野田市立山口東京理科大学工学部各学科、薬学部薬学科へ入学された皆さん、大学院工学研究科修士課程、博士課程へ進学された皆さん、おめでとうございます。また、すべての面で皆さんを支えてこられましたご家族の皆様及び関係者の皆様に、心からお祝いのご挨拶を申し上げます。山口東京理科大学は皆様のおかげをもちまして、この4月1日より薬学部を設置することとなりました。こうして、工学部と薬学部よりなる大学となりまして、薬学と工学のシナジーにより、教育や研究に一段の発展を期待し、社会への貢献、新たな産業の創出や優れた人材の育成を行っていく所存です。ここで学ぶ学生諸君にはぜひ、学部相互の融合に努め、「工学的センスを有する薬剤師、薬学者」、「生命や健康に関心の高いエンジニアや研究者」となって次の世界を担っていただきたいと願っております。



学長
森田 廣

大学に通う日々は、心身共に解放された、気力あふれ、人生で一番自由な時期です。大学で学べる機会を得られたということは、皆さんは大変恵まれているということなのです。皆さんに与えられた、かけがえのない大学での貴重な時間を大切にしてください。そして、この貴重な時間に、自ら学ぶ術を身につけてください。人生は学ぶことの連続ですから。

この山陽小野田市は、「しあわせ」が手に届くところにある街です。若い皆さんの今は、「みらい」が手に届くところにある年頃です。そして、皆さんが入学した山口東京理科大学は、「きぼう」が手に届くところにある大学です。どうか、健康に注意されて、初心を忘れずに、しっかりした目標を立てられ、それを目指して存分に学んでください。皆さんが、有意義な学生生活を過ごされますことを願っております。

新任教員紹介

平成30年4月1日付けで、29名の先生方が山陽小野田市立山口東京理科大学に着任されました。



共通教育センター
かさぎ てるひろ
笠置 映寛 准教授



共通教育センター
おおば なおこ
大庭 尚子 講師



共通教育センター
かざはや さとし
風早 悟史 講師



工学部 電気工学科
いとう まさひろ
伊藤 雅浩 助教



工学部 電気工学科
やまもと らいや
山本 頼弥 助教



工学部 応用化学科
はた しんいち
秦 慎一 助教



薬学部 薬学科
いなみ けいこ
稲見 圭子 教授



薬学部 薬学科
いのうえ さちえ
井上 幸江 教授



薬学部 薬学科
おがた こうじ
緒方 浩二 教授



薬学部 薬学科
しのはら ひさあき
篠原 久明 教授



薬学部 薬学科
しまもと あきら
嶋本 顕 教授



薬学部 薬学科
ひろい のりこ
広井 賀子 教授



薬学部 薬学科
まつなが ひろゆみ
松永 浩文 教授



薬学部 薬学科
もちづき まさたか
望月 正隆 教授



薬学部 薬学科
ももたに こう
百溪 江 教授



薬学部 薬学科
 わだ みつひろ
 和田 光弘 教授



薬学部 薬学科
 いよだ たくや
 伊豫田 拓也 准教授



薬学部 薬学科
 たちばな けん
 立花 研 准教授



薬学部 薬学科
 てらお あきら
 寺尾 哲 准教授



薬学部 薬学科
 むとう じゅんぺい
 武藤 純平 准教授



薬学部 薬学科
 おきた なおゆき
 沖田 直之 講師



薬学部 薬学科
 さかい くみこ
 坂井 久美子 講師



薬学部 薬学科
 たむら まさひろ
 田村 雅史 講師



薬学部 薬学科
 なかむら しんいち
 中村 心一 講師



薬学部 薬学科
 はたけやま まこと
 畠山 允 講師



薬学部 薬学科
 やまもと てるゆき
 山本 晃之 講師



薬学部 薬学科
 つげ きょうしろう
 告 恭史郎 助教



薬学部 薬学科
 やすやま たくろう
 安山 卓郎 助教



薬学部 薬学科
 やまなか りゅう
 山中 龍 助教

8月4日(土)・5日(日)

オープンキャンパスを開催

8月4日(土)・5日(日)に、オープンキャンパスを開催し、各学部学科の説明会や、入試に関する説明会、模擬授業や研究・実験体験コーナー、募集要項・過去問配布コーナーなど、様々なプログラムで本学を体験していただきました。今年4月に新設された薬学部のプログラムも今回のオープンキャンパスから本格的に実施され、会場は大変賑わいました。また、山陽小野田市役所の職員による山陽小野田市のブースも設けられ、大学だけではなく地域の紹介も行いました。当日は真夏の暑さにもかかわらず、県内外から多くの高校生・受験生やそのご家族の方々、地域の方々がお越しくださり、最終的な来場者は2日間で約1,900名と大盛況でした。

各学部の説明会や研究実験・体験コーナーでは、本学の教育や研究の特色をご紹介しました。本学ならではの研究内容や研究成果を盛り込んだプログラムを、来場者の方に分かりやすくご紹介できるよう前年度から工夫を重ねたこともあり、各研究室による研究実験・体験コーナーには、特に多くの来場者が訪れていました。時には実験を交えながら、最新の研究内容を分かりやすく説明するとともに、来場者からの熱心な質問にお答えしました。工学部では、教員だけでなく研究室に所属する上級生ともやりとりの出来る点が大変好評でした。各種相談コーナーでは、入試アドバイザーが入試について詳しくご説明するだけでなく、薬学部の一期生が参加するコーナー「おはなし隊」や、女子学生による「リケジョカフェ」があり、入学後の具体的なキャンパスライフ等について来場者の相談に答えました。来場者からの活発な質問に、学生が熱心に応対する姿が数多く見られました。また、学生がキャンパスをご案内する見学ツアーにも多くの方にご参加いただき、入学後の施設の実際の使い方をイメージしながら見学することが出来たと好評でした。

来場者のみなさまには、本学の研究・教育内容を知っていただくとともに、キャンパスや研究室、さらには山陽小野田市の雰囲気を感じていただける良い機会となりました。今後もより充実したオープンキャンパスとなりますよう努力してまいります。

たくさんの学生がオープンキャンパスを盛り上げようと協力をしてくださいました。来場者は本学学生の明るく丁寧な対応に満足した様子でした。2日間大変お疲れ様でした！



キャンパスニュース

学生消防団員辞令交付式

4月23日（月）、本学にて学生消防団辞令交付式が行われ、5名の学生が初の学生消防団員に任命されました。これは、高齢化などで定員割れが続く消防団の活動を若い力で活性化させようと、消防団員の任用資格を市内に通学する学生も対象とすることに変更されたものです。なお、5月には12名、7月には1名が入団し、現在18名が学生消防団員として活躍しています。



ブックハンティングを開催

5月26日（土）、ジュンク堂書店福岡店において、ブックハンティングを開催しました。これは昨年からはまったイベントで、学生が実際に書店を訪問し、図書館に置いてほしい本を選定する企画となっており、今回は学生19名の参加がありました。

選書された309冊のうち、図書館にすでに所蔵のあるもの等を除いた283冊の図書を購入いたしました。なお、今回購入した図書はブックハンティングコーナーを設け、展示を行いました。



学生ボランティアが海岸清掃エコツアーに参加

5月27日（日）、山口県内の海岸の清掃を行う、海岸清掃エコツアーに本学の学生ボランティアが参加しました。この海岸清掃は、山口県内12大学で構成する「山口県エコキャンパス取組推進協議会」が主催したもので、他大学の学生と交流しながら、海岸漂着物の現状を知り、リサイクルについての理解を深め、環境にやさしいライフスタイルについて考える取り組みです。

参加した学生たちは、海岸清掃の実施とともに、漂着ペットボトルの国別調査やゴミの計量などを行いました。



スポーツ大会を実施

5月12日（土）、本学体育館にて、恒例行事の「スポーツ大会」が行われ、工学部生・薬学部生・大学院生及び教員、約350名が参加しました。体育館でソフトバレーとバドミントンで楽しく真剣に得点を競うとともに、全校舎を使ってクイズ大会を開催しました。また、竜王山でハイキングも行い、日頃の運動不足の解消をしながら、学生と教員、学生同士で親睦を深めました。



「復活！住吉まつり」に参加

5月26日（土）・27日（日）、山陽小野田市の住吉神社をメイン会場に「復活！住吉まつり」が開催され、本学からは「HMS」、「自動車部」、「ロボット・メカトロニクス部」、「アプリ開発研究部」、「All Tea Garden」によるブース出展、「軽音部」によるステージ演奏や学生宿舎の1年生を中心とした有志による龍舞など、住吉まつりを大いに盛り上げました。

その他、学生有志によるボランティアも参加し、ステージ運営をはじめ、様々な形で住吉まつりのお手伝いをしました。



キャンパスクリーンキャンペーンを実施

6月7日（木）、今年1回目のキャンパスクリーンキャンペーンを実施しました。これは毎年行っている清掃活動で、多くのボランティア学生・教職員が参加しました。大学構内及び大学の周辺、JR 雀田駅から大学までの通学路を中心に、タバコの吸い殻や空き缶などのゴミを回収しました。回収後はゴミの分別も行い、環境美化に対する意識をより高めることができました。次回は11月に実施予定です。



本学薬学部生が県庁を訪問

6月7日(木)、薬学部の学生が山口県庁で「薬学早期体験学習」を行いました。これは、県内の大学では初めてとなる取り組みで、薬学部の学生たちに将来の職業選択の際に参考にしてもらおうと、山口県庁の全面的なご協力により実現しました。

様々な部署を見学し、業務内容について説明を受けました。また、県庁の方と学生で薬剤師が果たす役割の重要性などの意見交換を行いました。



山口県知事による特別講義を開催

7月17日(火)、本学薬学部の授業において、村岡副知事による「新たな県づくりに向けて～明治改元から150年～」と題した特別講義が開催されました。

山口県の人口減少に対する施策として定めた、活力みなぎる山口県の実現に向けた取り組みについて講話をいただき、「今回の講義をきっかけに、山口県内のさまざまな事業を知ってほしい、有意義な学園生活を送り、視野を広げて将来進むべき道を決めてほしい」と、学生に激励のメッセージをいただきました。



本学工学部生が長州産業株式会社を訪問

7月25日(水)、本学工学部電気工学科の3年生60名が「電気工学実験Ⅱ」の学外学習として地元企業の長州産業株式会社を訪問し、先進的な太陽光発電システムや水素製造装置を見学しました。また、「エンジニアの仕事」と題した若手技術者による講義を聴講し、研究開発の経験に基づいた学生へのアドバイスをいただきました。実際の製造現場を見学することで、将来の目標に向かって学ぶモチベーションを高める、良い機会となりました。



雀田駅周辺整備完工式

一般社団法人小野田青年会議所の創立55周年記念事業として、本学最寄駅である雀田駅と周辺の環境整備に取り組み、8月1日(水)の完工式で約50名の関係者がリニューアルを祝いました。

今回の小野田青年会議所による雀田駅改修事業は、街灯の設置、屋根付き駐輪場の整備について、市民や企業、団体から約300万円の寄付を集めて実施されました。本学の学生有志もボランティアで参加するなど、産官学民が一体となり進められました。



2019年度入試情報

2019年度工学部一般入試は前期日程と公立大学中期日程、薬学部一般入試は公立大学中期日程により行い、大学入試センター試験と本学独自の個別学力検査の合計点によって合否を決定します。個別学力検査は、前期日程・公立大学中期日程ともに山口、岡山、広島、愛媛、北九州、福岡、大分の7会場で実施します。

2019年度 山陽小野田市立山口東京理科大学 入試日程

		入試日程		募集人員	出願期間	試験日	合格発表	試験場
工学部	一般入試	前期日程	A方式	48人	2019年 1月28日(月)～2月6日(水)	2月25日(月)	3月6日(水)	山口・岡山・広島・愛媛・北九州・福岡・大分
			B方式	48人				
		公立大学中期日程	26人		3月8日(金)	3月21日(木)	山口・岡山・広島・愛媛・北九州・福岡・大分	
		AO入試	15人	2018年 8月13日(月)～8月17日(金)	9月15日(土)	10月1日(月)	山口	
推薦入試	地域推薦	市内枠	13人	2018年 11月5日(月)～11月12日(月)	11月24日(土)	12月10日(月)	山口	
		県内枠	33人					
	一般推薦	17人						
薬学部	一般入試	公立大学中期日程	90人	2019年 1月28日(月)～2月6日(水)	3月8日(金)	3月21日(木)	山口・岡山・広島・愛媛・北九州・福岡・大分	
	推薦入試	地域推薦	市内枠	5人	2018年 11月5日(月)～11月12日(月)	11月24日(土)	12月10日(月)	山口
			県内枠	20人				
			指定校枠	5人				

学生表彰

材料技術研究協会「会長特別賞」、「シルバー賞」を受賞

工学部機械工学科の学生と教員が、平成30年8月8日(水)に環太平洋大学にて開催された、材料技術研究協会のInternational Student Symposium2018にて「会長特別賞」及び「シルバー賞」を受賞しました。



(左から河本さん、橘さん、村下さん、達川さん、竹淵さん)

● 会長特別賞

- 受賞者 工学部機械工学科 4年 橘春貴
工学部機械工学科 助教 田中公美子
大学院工学研究科工学専攻 修士課程1年 下西大地
工学部機械工学科 吉村敏彦研究室 中川大典
工学部機械工学科 教授 吉村敏彦
- 発表題目 「キャビテーション加工を施したステンレス鋼の減衰能特性評価」

- 受賞者 工学部機械工学科 4年 河本遥平
工学部機械工学科 助教 田中公美子
工学部機械工学科 4年 達川皓介
工学部機械工学科 吉村敏彦研究室 中川大典
工学部機械工学科 教授 吉村敏彦
- 発表題目 「メカノケミカル機能性キャビテーション加工による熱硬化性樹脂系CFRPのリサイクル性に関する研究」

● シルバー賞

- 受賞者 工学部機械工学科 4年 村下悠行
工学部機械工学科 助教 田中公美子
工学部機械工学科 4年 竹淵直輝
工学部機械工学科 吉村敏彦研究室 中川大典
工学部機械工学科 ポストドクトラル研究員 井尻政孝
工学部機械工学科 教授 吉村敏彦
- 発表題目 「機能性キャビテーションにより加工したCr-Mo鋼の微細組織変化」
- 受賞者 工学部機械工学科 4年 達川皓介
工学部機械工学科 助教 田中公美子
工学部機械工学科 4年 河本遥平
工学部機械工学科 吉村敏彦研究室 中川大典
工学部機械工学科 教授 吉村敏彦
- 発表題目 「キャビテーション加工を用いた熱可塑性樹脂系CFRPのリサイクル性に関する研究」
- 受賞者 工学部機械工学科 4年 竹淵直輝
工学部機械工学科 助教 田中公美子
工学部機械工学科 4年 村下悠行
工学部機械工学科 吉村敏彦研究室 中川大典
工学部機械工学科 ポストドクトラル研究員 井尻政孝
工学部機械工学科 教授 吉村敏彦
- 発表題目 「超高温高圧キャビテーションを用いたTi合金の熱衝撃特性評価」

予定

学生年間スケジュール (2018年10月～2019年3月)

10/6(土)～10/7(日)	竜王祭
10/21(日)	保証人懇談会
11/6(火)～11/20(火)	定期試験期間(Ⅲ期) ※工学部のみ
11/29(木)	大学院中間発表会
12/23(月)～1/6(月)	冬期休暇期間
1/7(月)	後期授業再開
1/22(火)～2/6(水)	工学部定期試験期間
1/22(火)～2/5(火)	薬学部定期試験期間
2/7(木)	後期授業最終日
2/12(火)～2/13(水)	大学院修士課程業績報告会
2/19(火)～2/21(木)	卒業研究発表会
3/18(月)	学位記授与式

予算

平成30年度予算

平成30年度は、地域社会の発展に寄与する自立的な大学運営の基盤整備を重視した効果的かつ公立的な予算編成を行いました。

1 教育研究の充実

公立化3年目に向けて教育研究の一層の充実をめざし、自己収入の増収や外部資金の獲得を進め、安定的な財源の確保に努める。

2 施設等環境整備の充実

施設設備を良好な状態で維持管理するための修繕・整備を計画的かつ効率的に実施する。

3 地域貢献活動の充実

地域の課題を解決する教育研究の推進、産学官連携、地域連携に向けた活動を推進する。

収入の部 (単位:千円)	
科目	30年度予算額
運営費交付金収入	1,542,915
学生等納付金収入	676,760
受託研究等収入	11,700
雑収入	10,358
財務収入	3
その他	2,460
収入の部合計	2,244,196

支出の部 (単位:千円)	
科目	30年度予算額
人件費	1,089,959
一般管理費	584,596
教育経費	289,469
研究経費	89,549
教育研究支援経費	168,923
受託研究費等	11,700
予備費	10,000
支出の部合計	2,244,196

学長室から 今年度は『バランス重視』で新たな大学の姿を目指して参ります

本学は継続して皆様の大きなご支援を頂き、ここに公立大学移行3年目を恙なく過ごさせて頂いております。また、今年度から待望の薬学部を開設することができ、薬工、2学部の体制にできましたこと、本学を代表して、心よりお礼申し上げます。今後もより一層、教育・研究に精進し、地域や社会に貢献すべく邁進してまいります。どうぞ、今後とも宜しくご支援のほど、お願い申し上げます。

年度の初めに私は、本学の教職員の皆様に、今ならではの大学の心構えとして「バランス」という言葉の重要性を宣言させていただきました。まず念頭にありましたのは、新しくできた「薬学部」とこれまでの「工学部」とのバランスであります。両方の学部に優劣はなく、お互いが尊重し合い、切磋琢磨することにより大学としての目的を達成することができると思います。また、これは新しく来られた教職員と以前から在籍している教職員の「新」と「旧」とのバランスでもあります。以前よりおられる方々は新しい方にごならではのわからないことを御教示し、新しい方からはもっと良い、より新しい考えややり方を教えていただくということ。そして大学の研究や教育の中にも「基礎」的なものと「応用」的なものがあります。これらのどちらも大事ですので、基礎と応用を上手に融合させてバランスをとり、教育や研究の成果を

上げていくことでしょうか。そして、これまでも、これからは地域を重視した大学の方針として「学内」と「学外」とのバランスがあります。この中には、大学と地域、学生・教職員と市民、学生の大学の中での生活と学外の地域やご家族との生活のバランスの意味も込められております。そして学生も教職員も人として生活において「On」と「Off」のバランスも大切です。その他、教育も含めた、人と接する場における「厳しさ」と「優しさ」のバランス、さらには「過去」と「未来」に目を向けてのバランス、「デジタル」と「アナログ」とのバランスもあるでしょう。

世の中にある、相反や並列する事象や目的、活動にも、根底には共通した、より上位の意味があるものです。その共通の意味をお互いに尊重して、そこでのバランスをとることこそ、ものごとを上手に先に進めることにつながります。本学の新たな形での再スタートともいえる今年度は「バランス重視」を共通理念において、ひとつの大学、社会と一体となった大学、過去から現在、未来に至るひとつの信念を貫ける大学を標榜して行動して参りたいと思います。

平成30年初秋（猛暑から一転、校内の植込みや吹く風に秋の気配の増すのを感じながら）

山口東京理科大学長 森田 廣

寄附の募集をしております。

平成29(2017)年に創立30周年を迎えた本学は、創立以来「理学の普及をもって国運発展の基礎とする」という建学の精神のもとに、地域のキーパーソンとなる人材を育成してまいりました。現在では、工学部、薬学部、大学院工学研究科をはじめ、液晶研究所、先進材料研究所、地域連携センターなどを擁し、優れた研究業績をあげるとともに多くの有為な人材を送り出し、社会に貢献してまいりました。

今年からは、西日本の公立大学では初めてとなる薬学部を開設し、超高齢化時代に必要となる薬剤師の養成と地域社会に対する教育・研究面での成果の還元を積極的に進めることとしており、これらを実践してい

くためには、少しでも多くの自主的な活動財源を確保していくことが不可欠となっております。

このため、創立30周年を契機として広く寄附金を募っております。寄附金は「山口東京理科大学奨学基金」として積み立て、学生の教育環境の充実、教育・研究活動における地域貢献の強化などに活用したいと考えております。

大変厳しい経済情勢ではありますが、本学の人材育成のさらなる充実を図るため、本趣旨をご理解いただき、誠に恐縮ではありますが、何卒格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 実施する事業

1 修学支援事業

- ・ 家計急変などによる経済的に困窮した学生に対する支援事業
- ・ 海外からの留学生に対する奨学制度などの留学生支援事業
- ・ 本学学生の海外留学への支援事業
- ・ 海外研究者の招聘等

2 地域連携事業

- ・ 自治体、地域の企業、団体等と連携した教育・研究支援事業
- ・ 本学及び自治体の主催する地域行事に対する支援事業

3 その他 基金の目的達成に必要な事業

● 金額 本学へのご寄附に対して税制上の優遇措置を受けることができます。

1 個人の方

- ・ 1口3千円
- ・ 何口でもお申込みいただけます

2 法人の方

- ・ 1口3千円
- ・ 何口でもお申込みいただけます

● 個人情報の取り扱い

本基金のためにご提供いただいた個人情報は、寄附金収受業務、寄附募集に関する業務、及び本学の事業をご案内する場合のみご使用させていただきます。なお、個人情報の管理につきましては、「公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学個人情報保護規程」に基づき取り扱います。

本学へのご寄附お申込は、「インターネットからのお手続き」、「寄附金申込書によるお手続き」からお選びいただけます。詳しくは本学ホームページをご覧ください。



保証人懇談会のお知らせ

日時: 10月21日(日)9時30分~(受付開始: 9時00分~)

会場: 山陽小野田市立山口東京理科大学

工学部: 5号館2階 5201教室 薬学部: 7号館1階 711教室

※ 4月10日に開催されました「教育後援会定期総会」のご報告も予定しております。



(写真は昨年度の様子です)



公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学
Sanyo-Onoda City University

〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1
TEL 0836-88-3500 FAX 0836-88-3400
✉ kyoumu@admin.socu.ac.jp
<http://www.socu.ac.jp/>

